

敬馬愕の事実

大阪地検特捜部の検事が証拠を改ざんし無実の国民を犯罪者にする国です。何も驚くに値しません。今度の原発事故においても国民を愚弄する事実が白日の下に曝され、進行しています。

前にふれていますが、「原子炉時限爆弾」を読み驚愕(きょうがく)の事実。実際悲しいことに、この政府に税金を払うのはあきれ果て泥棒に追銭を払うようなものとす

ら思ってしまう。本来「国防と安心と安全」は国家の責任ですが、政府でなく東電が今回示した工程表は9ヶ月後まで見通しを送り出したものではないでしょうか。過去の経緯から、単なる御用専門家の希望の見解ではないでしょうか。

隠蔽体質の東電や政府は果たして本当の情報を明らかにしているのでしょうか。19日原子力安全・保安院は、4号機の地下にたまっていく放射性物質を含むとみられる水について、当初、20センチ程度と発表したものを実際には5メートルほどあったと訂正しました。時間の経緯と共に分かり切っていた事実関係を小出しにして来ています。

17日わざわざクリントン国務長官が来日し、政府の現状と国家方針を確認して行きました。忠誠を表明し?元氣(独善)になった総理。これは暗黙の了解が存在しているのと見て良いでしょう。

今度の日本の復興には莫大な資金が必要です。復興のため増税が囁かれています。資金は充分にあります。簡単な話、米国債残8800億ドル・107兆円(ドル82円)を取り崩せばよいのです。甚大なる為替損の確定でありますが、元は国民の税金です。なぜ増税なのでしょう。米

けが義務でもない。しかし、米国債の売却を実行する前に、米国は日本の近隣で緊張を高めて、今度は本場に戦闘を始めることでしょうか。結果税金で、これまで通り日本国民から収奪するのです。



危機感や不安がないことが正常か

経済成長でしか赤字体質からは抜け出せません。国家戦略と科学技術は裏表です。三年前に太陽光発電は世界のトップでしたが政府の政策転換でドイツに譲り、奢りで原発は無惨な状況。国家戦略を見事に誤ったのです。財務省主導の増税は確実に、国家と国民に致命傷を負わせるものです。すでに劣化は確実、三流国家が目前であります。危機感喪失のバカは変わらぬのでバカのままなのです。まず世界から資本と技術と一流の人材を日本に集め、失敗から多くを学び、不幸を授業料にして明日の糧にしなければなりません。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2011年4月21日(木) NO 188
 地域から明るい未来を作ろう

組織のトップ、指導者は、人々からどう見えるかが重要です。また孤独に耐え、絶対に屈しない強い意志の力も大切です。見えない自分自身は、内なる心を正しくすること、鏡に映し出されるということです。常に内なる自分を一番見ていないのは自分でしょう。いつの時代でも、何かを始めれば必ず「裏目や逆境」

日は又昇る

に遭遇します。思った通りには行かないのが殆どです。組織には目標と計画が必要不可欠。自分自身を正していない結果が、「裏目や逆境」として現象が生じるのですから、すべての責任は自分自身にあります。国を見てもトップが後手で優柔不断に見えるとき、

国が弱体しているのです。国家の危機です。会社でも同じこと。自分を正しく目標をいつまでに明らかにし共有し、「裏目や逆境」は天からの試練なのです。諦めずに追求し続けられ、必ず日は又昇ると信じて。

